全ての働く人々に安全・健康を
～ Safe Work , Safe Life ～

JISHA
Japan Industrial Safety & Health Association

熱中症

2019年度 予防対策シンポジウム

平成30年の「職場における熱中症による死傷災害の発生状況（速報値）」によると、死傷者数は1,128人、死亡者数は29人となっており、平成29年と比較して、死傷者数、死亡者数ともに2倍を上回る状況にあります。このような状況を受け、厚生労働省などの主唱により、今年も「STOP!熱中症　クールワークキャンペーン」が実施されます。

中災防では、同キャンペーンの一環として、「熱中症予防対策シンポジウム」を開催いたします。気象の観点、産業医と衛生管理者の観点からの専門家による解説に加え、企業における熱中症予防の取組事例等も紹介いたします。

なお、今回のシンポジウムでは、参加者からの疑問・質問等に対応するため、パネルディスカッションの時間を例年より長めに設定しております。

また、会場では、併せて、熱中症予防に関連する機器・用品を展示し、ご紹介いたしますので、是非この機会にご参加ください。

名古屋会場
2019年 **6月5日（水）** 12:30～17:00
電気文化会館イベントホール
愛知県名古屋市中区栄2-2-5

東京会場
2019年 **6月12日（水）** 12:30～17:00
グランパークカンファレンス 401ホール
東京都港区芝浦3-4-1　グランパークプラザビル

参加費（資料代・消費税込み）【一　般】10,800円　【中災防会員・賛助会員・愛知労働基準協会会員（名古屋会場のみ）】9,720円

気象の観点から

「今年の夏の気象と熱中症になりやすい気象条件」

今年の夏の気象概況と熱中症はどのような条件が伴ってくると危険なのかを解説します。

村山 貢司（むらやま こうじ）
気象予報士
平成19年までNHKで気象解説を担当。スギ花粉情報、紫外線情報、熱中症予防情報等を開発し、環境省などにおいてヒートアイランド現象、熱中症・花粉症対策などの委員を務める。

産業医と衛生管理者の観点から

「熱中症発生のメカニズムからみた予防対策」

暑熱環境、作業負荷、個人差等が熱中症の発生にあたえる影響を解説します。職場において、熱中症を予防するための対策を紹介します。

堀江 正知（ほりえ せいち）
産業医科大学産業保健管理学教室 教授
日本鋼管㈱京浜製鉄所（現、JFEスチール㈱東日本製鉄所）産業医を経て、平成15年より産業医科大学産業保健管理学教室教授。環境省・厚生労働省の熱中症指針作成メンバー。

職場における熱中症予防対策について

名古屋会場
愛知労働局
労働基準部　健康課

東京会場
厚生労働省　労働基準局
安全衛生部　労働衛生課

熱中症予防対策企業の取組事例

田中　完
日本製鉄株式会社鹿島製鉄所　安全環境防災部
安全健康室　産業医

※タイトル・内容が一部変更になる場合がございます。

お申込先・お問合せ先
中央労働災害防止協会 教育推進部 業務課
TEL 03-3452-6257　中災防ホームページ https://www.jisha.or.jp/

主催　中央労働災害防止協会【 https://www.jisha.or.jp/ 】　協力　公益社団法人 愛知労働基準協会
後援　厚生労働省・(一社)全国警備業協会・(公社)全国ビルメンテナンス協会
協賛　株式会社映像研・大塚製薬株式会社・京都電子工業株式会社・ミドリ安全株式会社・株式会社空調服・日本ピーマック株式会社